

PKZIP® & SecureZIP® Server v8 for UNIX®/Linux®, for Windows® Configuration Sheet

データ圧縮・保護機能とデータ転送プロセスとの統合を実現する
UNIX/Linuxサーバ、Windowsサーバ向け製品

PKZIP、SecureZIP 製品共通の機能

- Windows® デスクトップ、UNIX®/Linux® や Windows サーバ、IBM® i5/OS® ならびに z/OS® プラットフォームに対する、データの可搬性と相互運用性を実現
- 暗号化のエンジンには実績と信頼性のあるRSA® BSAFE®を採用し、ファイルとファイル名の暗号化にAES (FIPS 197準拠) と3DESアルゴリズムを使用可能
- 他のアプリケーションとの連携に適したコマンド・ライン・インタフェースを提供
- アーカイブのサイズ上限は実質無し
- 標準のイベントログとの統合により、イベントログやSNMPトラップを介して、メッセージやエラーを監視コンソールに転送
- 充実したヘルプ機能

PKZIP製品の提供する機能

- ファイルを最大95%圧縮
- 様々なフォーマットのアーカイブファイルを解凍可能 (ZIP、GZIP、TAR、UUENCODE、XXENCODE、BINHEX、ARJ、LZH、RAR、CAB)
- X.509デジタル証明書を使用して、SecureZIPで暗号化や署名されたファイルの復号化と認証が可能
- リムーバブルメディアへの保存やEメールの添付ファイル用に、アーカイブを適切なサイズに分割
- パスフレーズ (パスワード) による暗号化

PKZIP 拡張データプロセスモジュール

PKZIPの圧縮・セキュリティ機能に以下の機能が追加されます

- バッチプロセス等で使用可能なFTP送信機能
- Eメールによるデータ転送を可能にするSMTP送信機能
- PKSFx ZIP自己解凍ファイルの生成機能

SecureZIP 製品の提供する機能

- PKI環境と非PKI環境の両方をサポートし、デジタル証明書を使用する暗号化とパスフレーズによる暗号化の使い分けが可能
- デジタル署名により、送信者とデータの完全性を確認
- FTPとSMTPによるデータ送信機能
- スマートカード管理システムとの相互運用性により、スマートカードやUSBトークンに格納されたデジタル証明書もサポート (Windows用製品のみ)

SecureZIP ディレクトリ統合モジュール

SecureZIPの標準セキュリティ機能に、以下の機能が追加されます

- Microsoft® Active Directory® や iPlanet™ などのLDAP 準拠ディレクトリに対して、デジタル証明書の参照が可能
- PKSFx ZIP自己解凍ファイルの生成機能

システム最小要件

Sun Solaris

- Solaris 8 もしくはそれ以降 (UltraSPARCプラットフォーム)
- 64MB メモリ (128MB 推奨)
- 12MB ディスク空き容量

IBM AIX

- AIX5L V5.1 もしくはそれ以降
- 64MB メモリ (128MB 推奨)
- 15MB ディスク空き領域

HP HP-UX

- HP-UX 11.0 もしくはそれ以降 (PA-RISC、Itanium)
- 64MB メモリ (128MB 推奨)
- 15MB ディスク空き領域

Linux

- カーネル2.4 もしくはそれ以降 (RedHat、SuSEを含む)
- Glibc - 2.2.4 (必須)
- 64MB メモリ (128MB 推奨)

Microsoft Windows

- Internet Explorer 6.0 がインストールされた Windows NT 4.0 SP6、Windows 2000 Server、Windows Server 2003
- 128MB メモリ (256MB 推奨)
- 13MB ディスク空き領域

ピーケーウェア・ジャパン株式会社
〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティ22階
Tel 03-4360-5487
Fax 03-4360-5786
Email info-jp@pkware.com
www.pkware.co.jp